

## 4 - 4 産業系施設

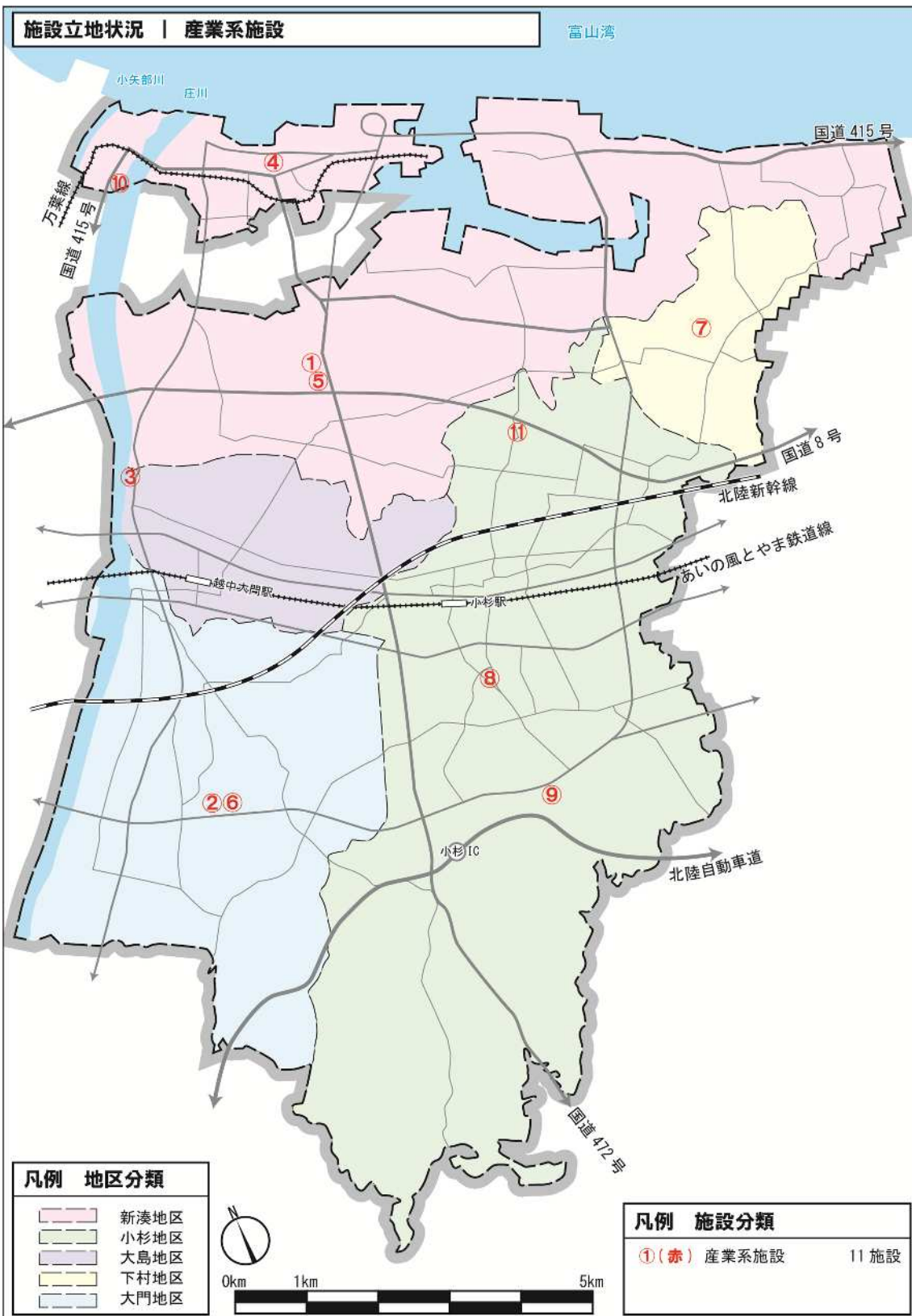
### (1) 施設類型概要

#### 1) 施設立地状況

本市の産業系施設は 11 施設あり、新湊地区に 4 施設、小杉地区に 3 施設、大島地区に 1 施設、下地区に 1 施設、大門地区に 2 施設立地しています。

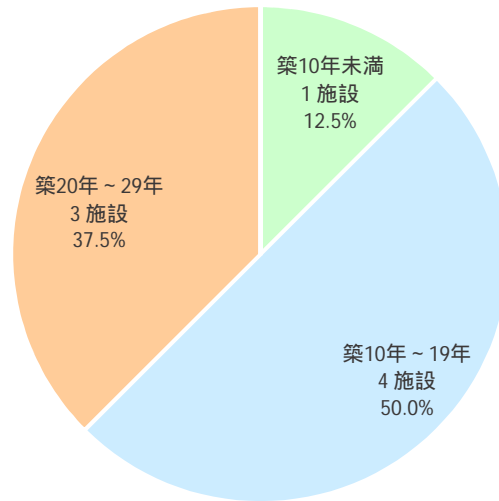
構造凡例 S：鉄骨造,RC：鉄筋コンクリート造,SRC：鉄骨鉄筋コンクリート造、W：木造

施設分類	施設数		施設名	所有 状況	管理 形態	代表建築 年度	経過 年数	耐震 補強	総延床面積 (㎡)	代表建築 物構造
産業系 施設	11施設	1	新湊農村環境改善センター	市有	指定管理	H08	19	不要	951.53	RC
		2	大門農村環境改善センター	市有	指定管理	H01	26	不要	1,162.84	RC
		3	大島農村環境改善センター	市有	指定管理	H10	17	不要	1,038.52	SRC
		4	川の駅新湊	市有	指定管理	H20	7	不要	558.79	RC
		5	道の駅新湊	市有	指定管理	H10	17	不要	978.96	RC
		6	大門コミュニティセンター	市有	指定管理	S62 (H9改修)	28 (18)	不要	1,122.13	RC
		7	ふれあい農園	市有	指定管理	H11	16	不要	120.64	W
		8	第1高齢者ふれあい健康農園	市有	市直営	-	-	-	-	-
		9	第2高齢者ふれあい健康農園	市有	市直営	-	-	-	-	-
		10	庄川左岸緑地分区園	市有	市直営	-	-	-	-	-
		11	稲積リバーサイドパーク揚水施設	市有	市直営	H03	24	不要	35.20	RC
合計								5,968.61		



## 2) 経過年数

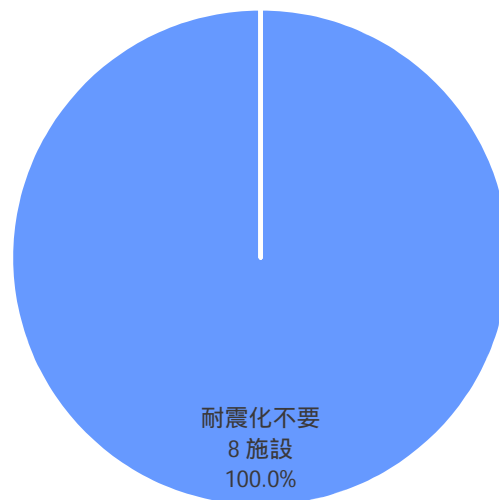
産業系施設で建物を有する施設は8施設あり、その建築後の経過年数は以下のとおりです。



建物のない施設は対象外

## (2) 耐震化率

産業系施設8施設の耐震化率については、以下のとおりです。



建物のない施設は対象外

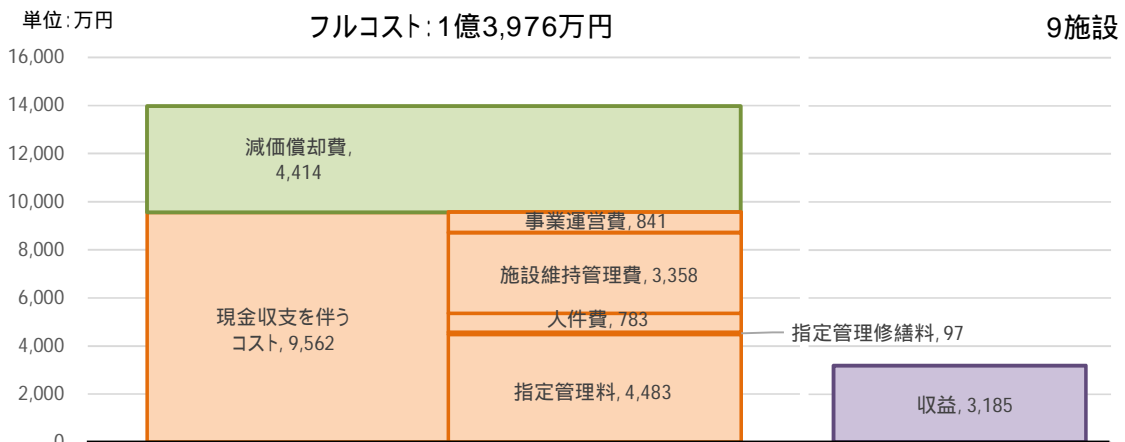
### (3) フルコストの状況

産業系施設は 11 施設ありますが、大門農村環境改善センターと大門コミュニティセンター、第 1 高齢者ふれあい健康農園と第 2 高齢者ふれあい健康農園は、それぞれ一括して計上しています。これらの減価償却費を含む平成 26 年度の年間フルコストは、1 億 3,976 万円です。

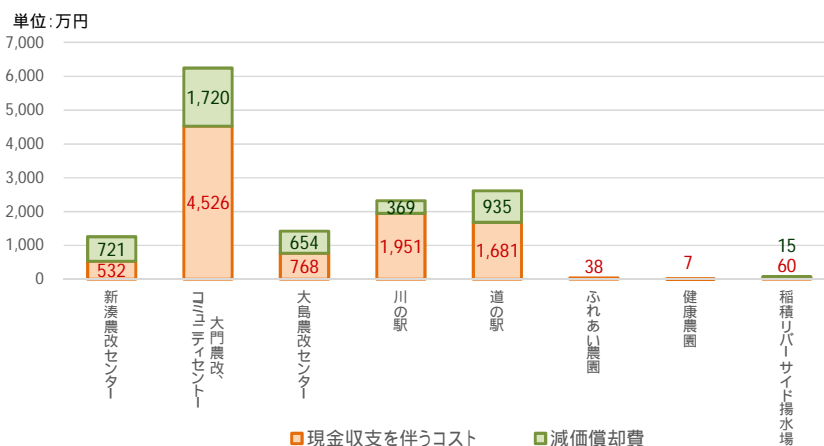
なお、庄川左岸緑地分区園については、公園においてコストを計上しています。

施設名	合計	(単位:千円)								
		1 新湊農村環境 改善センター	2 大門農村環境 改善センター・ コミュニティセンター	3 大島農村環境 改善センター	4 川の駅新湊	5 道の駅新湊	6 ふれあい農園	7 高齢者ふれあい 健康農園	8 庄川左岸緑地 分区園	9 稲積リバーサイド 揚水施設
指定管理料	44,830	5,063		6,732	19,286	13,561	188			
指定管理修繕料	973	103		309	67	463	31			
人件費	7,828		7,828							
報酬										
共済費										
賃金										
正規職員人件費	7,828		7,828							
施設維持管理費	33,584	155	30,882	639		1,126	150	63	569	
修繕費	6,865	155	4,830	639		1,091	150			
光熱水費	7,248		6,787			3		63	395	
燃料費	11,582		11,550			32				
建物管理委託料	7,889		7,714						175	
その他の経費										
事業運営費	5,127		5,127							
業務委託料										
その他物件費等	3,282		1,420		155	1,664	11	3	29	
(A) 現金収支を伴うコスト計	95,623	5,321	45,256	7,680	19,507	16,814	380	66	599	
(B) 減価償却費	44,136	7,208	17,201	6,539	3,689	9,353	0		147	
(C) フルコスト (A) + (B)	139,758	12,528	62,457	14,219	23,196	26,166	380	66	746	
利用料金等	14,070		14,070							
使用料	17,778		4,922	111	5	12,434			307	
使用料以外のその他収入	31,849		18,992	111	5	12,434			307	
(D) 収益計										
ネットコスト (C) - (D)	107,910	12,528	43,464	14,108	23,191	13,732	380	66	439	

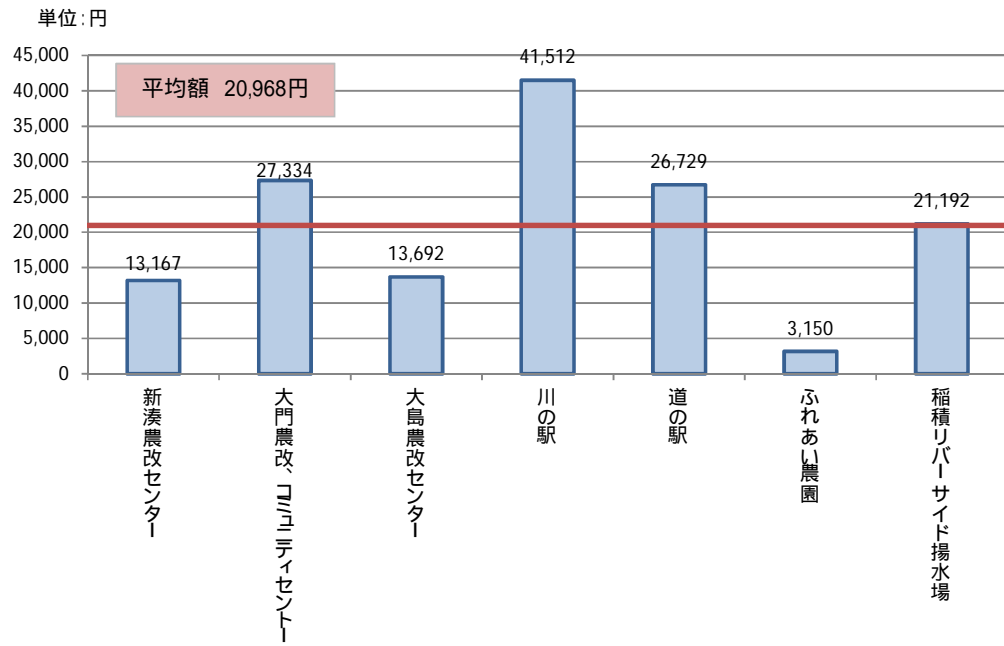
### 【フルコストの内訳】



### 【施設別のフルコスト】

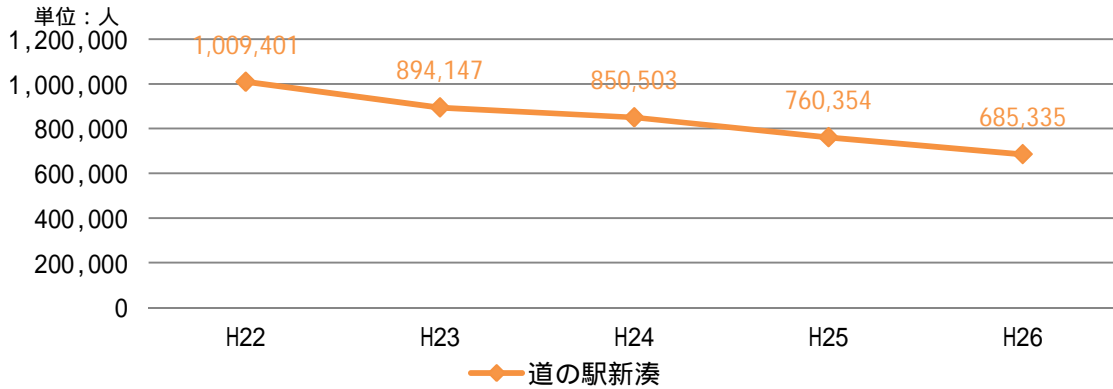


### 【施設別の延床面積 1 m<sup>2</sup>当たりのフルコスト】

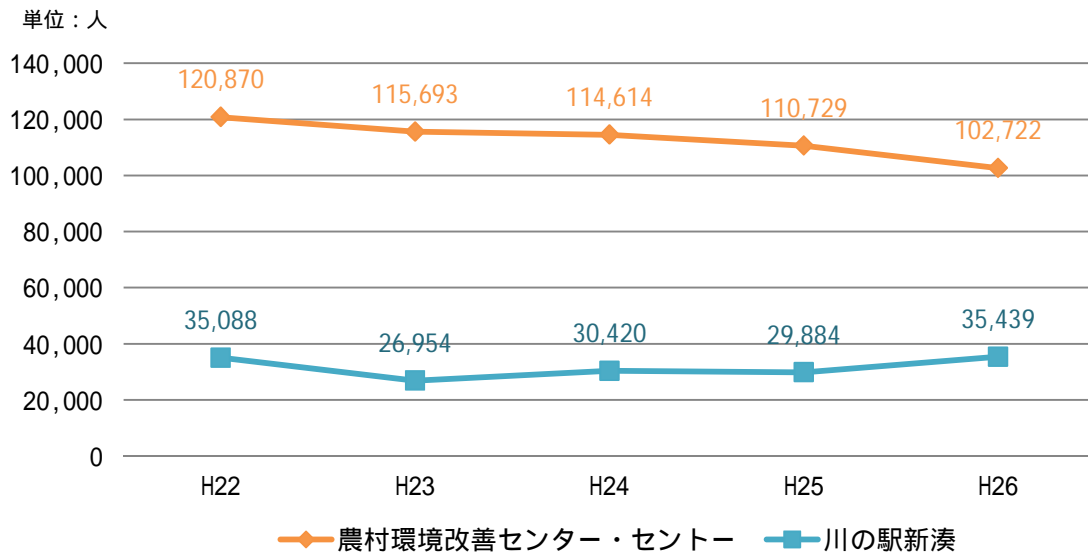


#### (4) 利用者数等の推移

平成22年度から平成26年度の産業系施設の利用者数のうち、道の駅新湊の利用者数は平成22年度では100万人を超えていましたが、年々減少傾向にあり、平成26年度では70万人を割り込んでいます。



また、川の駅新湊では、利用者数が減少した平成23年度から徐々に利用者が増加しており、平成26年度では約35,400人となっています。農村環境改善センターについては微減傾向にあり、平成26年度で約102,700人となっています。



(5) 利用状況分析

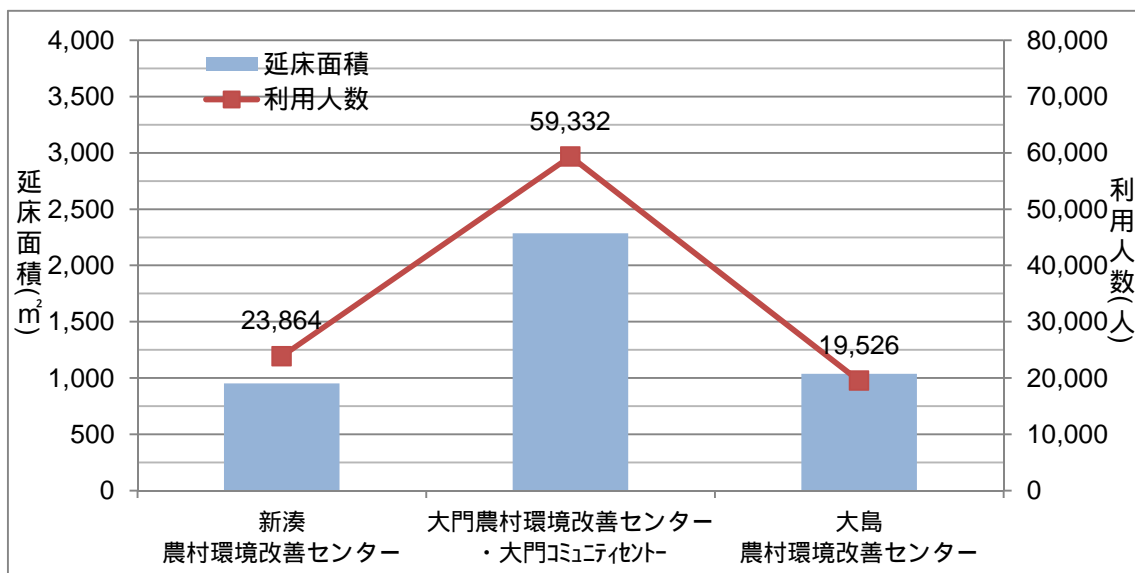
平成26年度の施設分類ごとの利用状況は下記のとおりです。

1) 農村環境改善センター（大門コミュニティセンター含む）

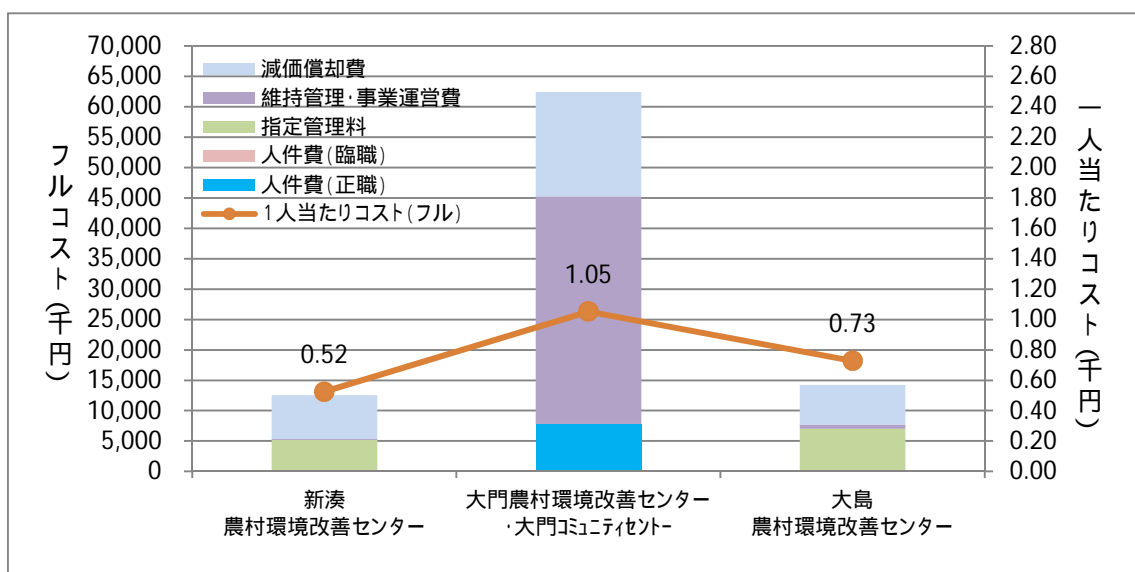
農村環境改善センターの利用状況は、概ね延床面積の大きさに応じて利用人数が多くなる傾向にあり、「大門農村環境改善センター・大門コミュニティセンター」（延床面積約2,300㎡）の利用が最も多く、約59,300人となっていますが、用途別・設備別利用状況から、入浴施設の利用によるものとわかります。

また、フルコストにおいても「大門農村環境改善センター・大門コミュニティセンター」が最も多く、利用者1人当たりコストについても「大門農村環境改善センター・大門コミュニティセンター」が最も多く、1.05千円となっています。

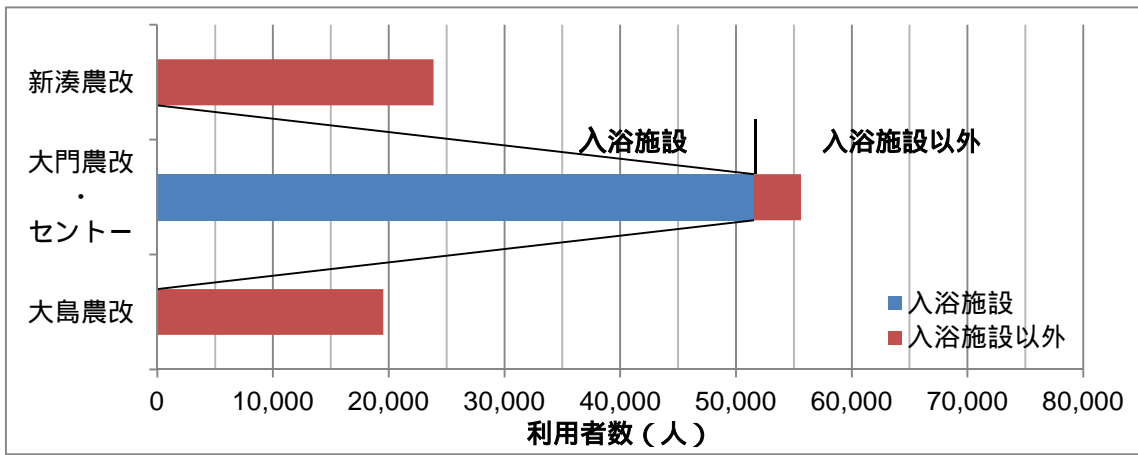
【延床面積及び利用人数】



【利用者1人当たりコスト】



【用途・設備別利用状況】



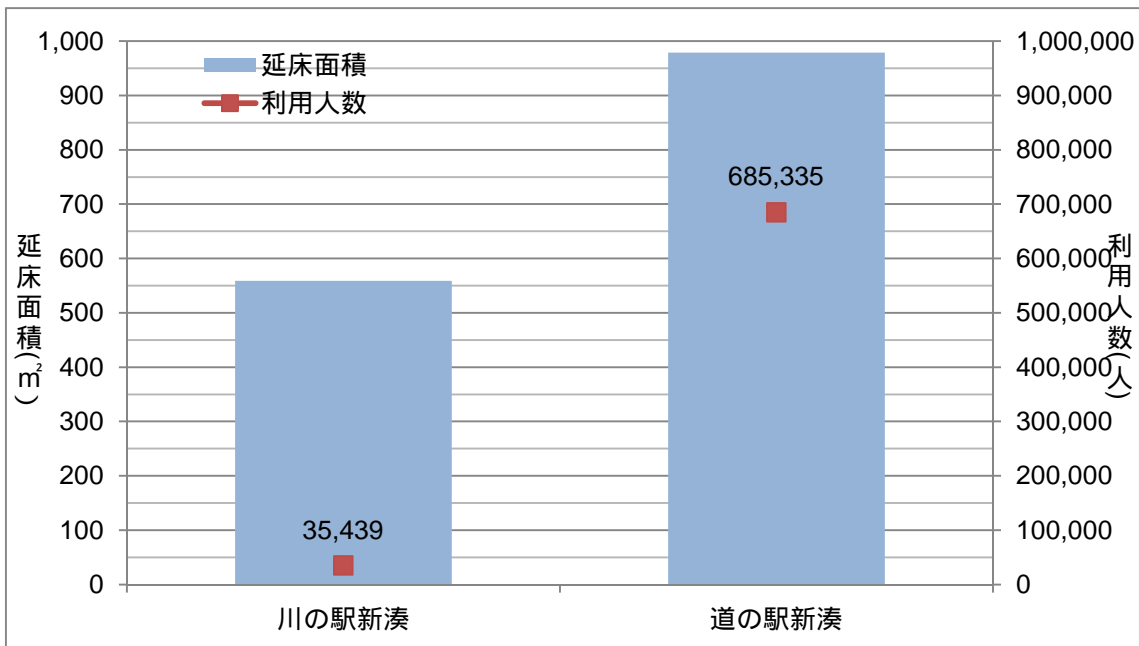


## 2) 川の駅・道の駅

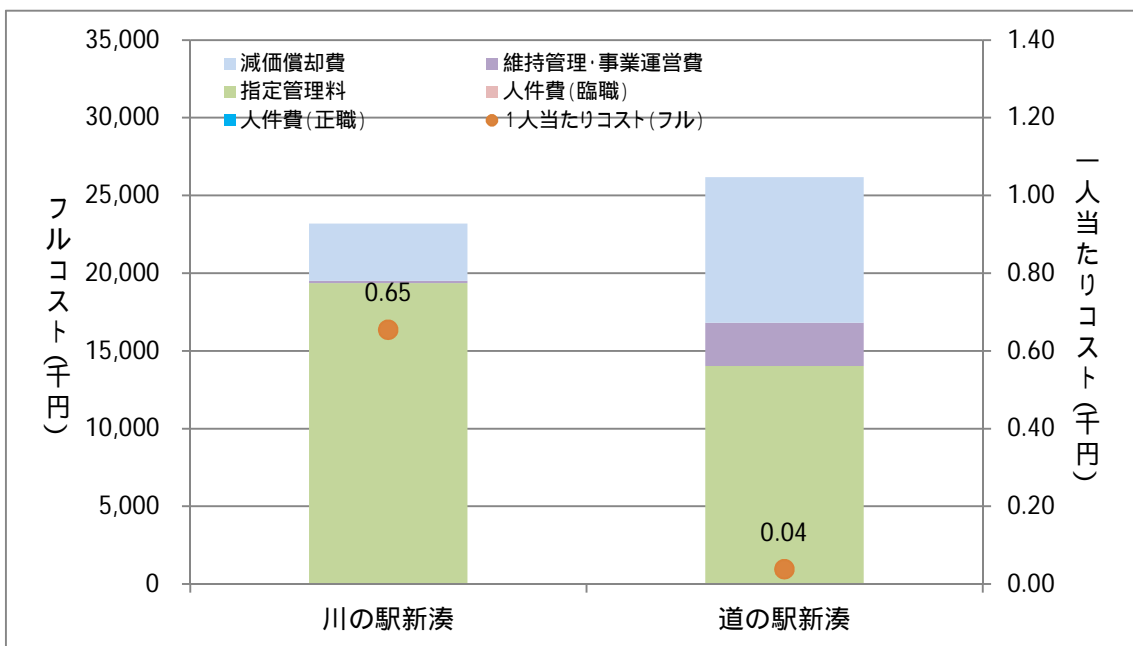
「川の駅新湊」(延床面積約 560 m<sup>2</sup>)の利用人数は約 35,400 人、「道の駅新湊」(延床面積約 980 m<sup>2</sup>)の利用人数は約 685,300 人となっています。

利用者 1 人当たりコストでは、「川の駅新湊」が 0.65 千円、「道の駅新湊」が 0.04 千円となっています。

【延床面積及び利用人数】



【利用者 1 人当たりコスト】

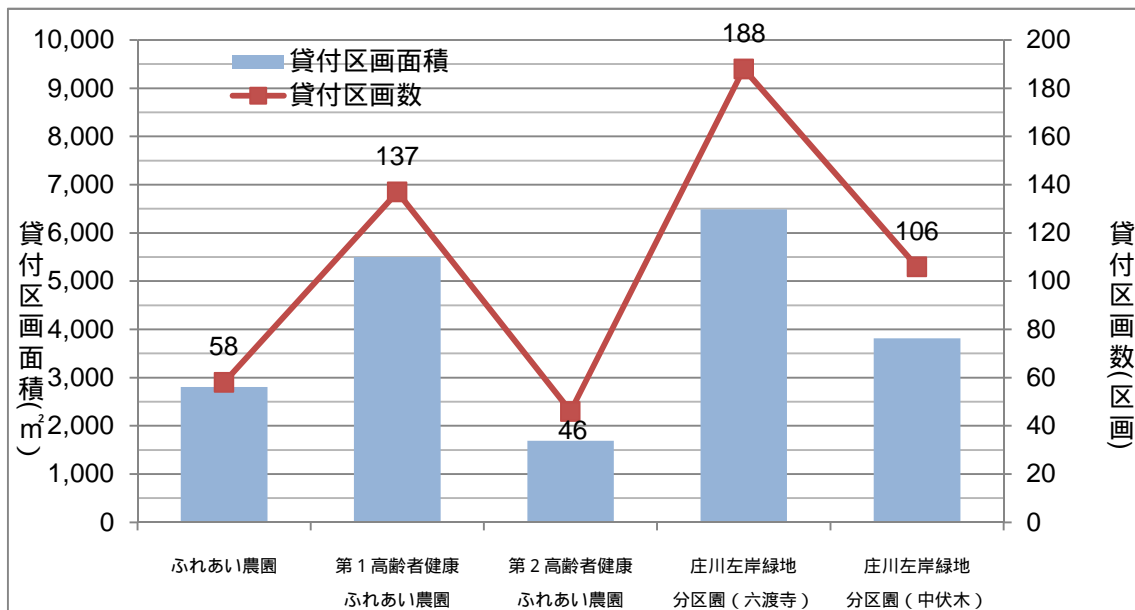


### 3) 農園

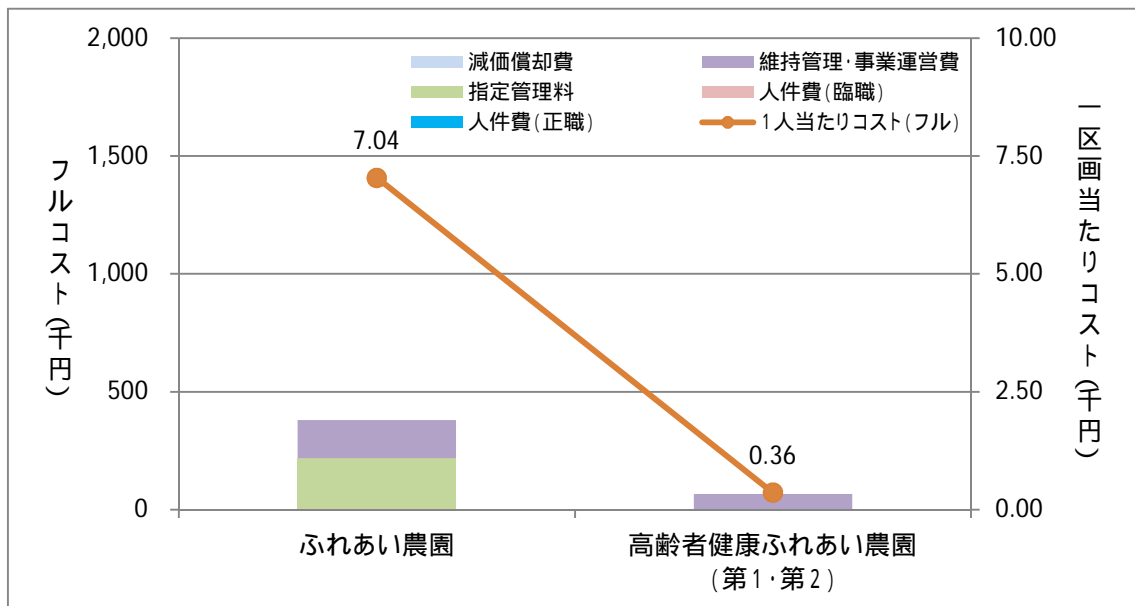
農園の利用状況は、「庄川左岸緑地分区園(六渡寺)」が貸付区画面積約 6,500 m<sup>2</sup>、貸付区画数約 190 区画と最も大きく、次いで、「第1高齢者健康ふれあい農園」が貸付区画面積約 5,500 m<sup>2</sup>、貸付区画数約 140 区画と続いています。

また、ふれあい農園の1区画当たりコストは7.04千円となっています。

【貸付区画面積及び貸付数】



【管理1区画当たりコスト】



## (6) 施設の現状

### 建物状況

- ・大門農村環境改善センター及び大門コミュニティセンターは、築20年以上が経過しています。

### 利用・運営状況

- ・農村環境改善センターについては、陶芸室や軽運動が可能な多目的ホール、会議室、調理実習室等、他の区分の施設と重複する機能が複数見られます。
- ・新湊農村環境改善センター、大島農村環境改善センター、川の駅新湊、道の駅新湊については、指定管理者制度を導入し、民間活力を生かした運営を行っており、大門農村環境改善センター・大門コミュニティセンターについても一括して平成27年度から指定管理者制度を導入しています。

### コスト状況

- ・フルコストに対して、収入の占める割合が新湊農村環境改善センター19.6%、大島農村環境改善センター29.7%、大門農村環境改善センター・コミュニティセンター37.6%とばらつきがあるため、今後、施設を維持更新していく場合は、適切な受益者負担を検討する必要があります。